

「令和元年度における福祉施設から一般就労への移行等調査」実施報告

仙台市障害者就労支援センター

1 目的

「仙台市障害者保健福祉計画・仙台市障害福祉計画・仙台市障害児福祉計画」に定める数値目標（「福祉施設の利用者における一般就労への移行者数」等）の到達状況を確認するとともに、仙台市内における障害者就労支援の現状を把握することを目的としている。

2 実施機関

仙台市健康福祉局障害福祉部障害企画課

仙台市障害者就労支援センター

3 調査対象事業所

仙台市内の福祉施設 234 事業所

障害者福祉サービス事業所のうち、就労移行支援、定着支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、自立訓練（機能訓練、生活訓練）、生活介護、障害者小規模地域活動センター

※今年度は新たに就労定着支援事業所を加え調査を行った。

4 調査対象年度

令和元年度

5 調査内容

- 1) 令和元年度における福祉施設から一般就労へ移行した利用者の状況（全施設が対象）
- 2) 令和元年度における一般就労以外の理由で退所した利用者の状況（就労移行支援事業所が対象）
- 3) 令和元年度における就労定着状況（定着支援事業所が対象）

6 実施方法

仙台市より提供があった事業所一覧のEメールアドレスに送信し、回答を依頼した。

7 調査期間

令和2年5月18日（月）～5月29日（金）（回答締切日）

最終回答受取日：令和2年6月16日（火）

8 調査結果

回収率 94.0%

- ①仙台市における福祉施設から一般就労への移行者数：286名（前年度284名 0.7%増）
（内、就労移行支援事業所から一般就労への移行者数：249名（前年度226名 10.2%増））

※仙台市障害者就労支援センターが直接支援して就労した障害者や特別支援学校の新卒就労者は含まない。

※詳細は別紙1参照

(※「仙台市障害者保健福祉計画・仙台市障害福祉計画・仙台市障害児福祉計画」に定める数値目標：256名)

②就労移行率 30%以上の就労移行支援事業所数：21 事業所（移行支援事業所の 60.0%）

※詳細は別紙 6 を参照

(※「仙台市障害者保健福祉計画・仙台市障害福祉計画・仙台市障害児福祉計画」に定める数値目標：43%)

③就労定着支援事業による職場定着率：84.6%

(※「仙台市障害者保健福祉計画・仙台市障害福祉計画・仙台市障害児福祉計画」に定める数値目標：70%)

※詳細は別紙 7 を参照

④結果の概観

○一般就労移行者の状況について

- ・一般就労移行者のうち、249名（87.1%）が就労移行支援事業所から就労しており、最も多かった。次いで就労継続支援 B 型事業所の 22 名（7.7%）、就労継続支援 A 型事業所の 7 名（2.4%）となった。
- ・障害種別では精神障害が 163 名（57.0%）で最も多く、次いで発達障害 45 名（15.7%）知的障害 32 名（11.2%）となった。
- ・就労先の業種として最も多いのが医療、福祉業で 42 名（14.7%）となっており、次いで情報通信業で 37 名（12.9%）、卸売・小売業で 34 名（11.9%）の順となった。

○離職者の状況について

- ・一般就労移行者のうち年度内離職者は 57 名（離職率：19.9%）で、離職理由で最も多かったのは「他の従業員とのアンマッチ」（12 名、21.1%）、次いで「病気による体調不良」（8 名、14.0%）と「雇用期間の満了」（8 名、14.0%）の順となった。
- ・離職者を障害種別で見ると、知的障害者が 8 名（一般就労者の 25.0%）で、次いで精神障害 36 名（同 22.1%）、発達障害 7 名（同 15.6%）となっており、知的障害の離職率が最も高かった。身体障害において離職者はいなかった。

○就労移行支援事業における一般就労以外の理由での退所状況について

- ・就労移行支援事業において一般就労以外で退所した利用者は 231 名おり、退所理由で最も多かったのが、「病気による体調不良」で 67 名（29.0%）、次いで「就労希望の変更」で 57 名（24.7%）であった。
- ・「就労希望の変更」で退所した利用者のうち、29 名（50.9%）が就労継続支援 A 型または B 型事業への利用を変更となっていた。
- ・利用期間 6 か月未満で退所した利用者は 81 名（35.1%）おり、そのうち 24 人が病気による体調不良を理由としていた。

○就労定着支援事業における職場定着率について

- ・障害別種別での職場定着率をみると身体障害が 90.9%（10 名）が最も高く、次いで発

達障害 86.7% (13名), 精神障害 86.1% (68名) となった。

- ・雇用形態では「常用雇用 (30h以上)」(80名, 76.9%) が最も多かった。
- ・離職の理由として最も多かったのが、「病気による体調不良」(5名, 26.3%) であった。次いで「仕事上のトラブル」と「作業・業務とのミスマッチ」が3名 (15.8%) であった。

9 添付資料

(1) 一般就労移行者の状況	別紙 1
(2) 離職者の状況	別紙 2
(3) 就労移行支援事業における一般就労移行者の状況	別紙 3
(4) 就労移行支援事業における離職者の状況	別紙 4
(5) 就労移行支援事業における一般就労以外の理由で退所した利用者の状況	別紙 5
(6) 就労移行支援事業における一般就労移行率	別紙 6
(7) 就労定着支援事業における職場定着率	別紙 7

以上